

# 2009 年度 事業報告書

(2009.7.1~2010.6.30)

特定非営利活動法人 市民活動センター神戸

## 2009 年度事業報告

I. この1年を振り返って	2
II. 事業	
A) NPO 活動を支える仕組みづくり	
1. 調査研究と政策提言事業	5
2. NPO のための資源開発事業	6
3. 情報発信事業	6
4. ネットワーク事業	7
B) NPO 支援	
5. NPO の経営支援事業	7
6. NPO への拠点提供 (神戸元町 NPO ポート運営) 事業	10
7. その他の事業	10
III. 組織	12
1. 会議	
2. 会員	
3. 役員	
4. 事務局	

## 2009 年度決算報告

I. 収支計算書・活動計算書	16
II. 貸借対照表	16
III. 財産目録	20
IV. 注記	21
V. 監査報告	22

## 2009 年度事業報告

### 1. この1年を振り返って

一年前のご報告には、「種が育ち、つぼみが少しずつ花開いてきた一年」と書きましたが、その流れで言えば2009年度は、花がもう少し開いてきた一年でした。事業面でも組織面でもまだまだ課題はありますが、会員はじめ多くの皆さまの支えにより、NPO 支援組織、そして地域づくりのインフラ組織として充実した一年とすることができました。KEC をご支援くださった皆さま、活動や運営にご参加、ご協力をくださった皆さまに、心からお礼を申し上げます。

昨期は年度の初めに、1) ひょうごん福祉ネットなど、NPO の現場からの政策を実現する、2) NPO への経営支援力をよりいっそう高める、3) NPO の経営改善に有効な講座を実施する、の3点を重点項目として挙げました。以下ではまず主なトピックスをご紹介します、最後に重点項目ごとの自己評価を記します。

#### 【日本初の介護保険制度外サービス実態調査】

KEC が事務局の一角を担う「ひょうごん福祉ネット」では、介護保険の制度外サービスに関する実態調査を神戸市福祉部局やコープこうべ等も含む広範なネットワークで実施し、制度外サービスの実態を（おそらく日本で初めて）客観的に示すことができました。専門家のみによる調査ではなく制度外サービスに現に携わっている当事者が主体となった調査であり、NPO のネットワークを活かす、実証的な調査を行う、調査のための調査でなく行政はじめ社会への働きかけのために活用する、といった点で KEC らしい活動ができたと思います。この調査・ネットワーク活動の実績は、2010 年度に入って神戸市の福祉計画策定への参画や同市福祉部局との協働事業にもつながっています。

#### 【アドバイザー派遣および支援センター研修】

NPO への経営支援としてここ数年力を入れている「アドバイザー派遣（系）事業」はその有効性が認められ、福祉医療機構（WAM）の助成事業（KEC アドバイザー派遣事業）、ひょうごボランティアプラザの助成事業、神戸市の委託事業（2種）と事業の種類が多くなってきています。昨年度はこの4種の事業で計14団体、のべ61回の支援を行いました。「個別・継続・チームによる支援」の有効性が認められてきました。

このうち「KEC アドバイザー派遣事業」では、個別経営支援のほかに同じ分野のNPOの「合同研修会」も行いました。普段孤立しがちなNPOのリーダー、スタッフが交流しノウハウや運営上の課題を共有し合うこのプログラムは予想以上に好評で、予定をはるかに上回る回数を実施、新年度も継続しています。

同事業ではまた、アドバイザー派遣のノウハウを他のNPO支援センターと共有しようと、支援センタースタッフ向け研修も開催しました。これも定員を上回る参加があり、「アドバイザー派遣」の仕組み、ノウハウを共有しディスカッションを行いました。「新しい公共」など民間公益活動への期

待が再び高まる中、それを支援する有効なプログラム開発に引き続き注力して参ります。

### 【財団法人神戸文化支援基金設立の支援】

公益信託亀井純子文化基金などで神戸の芸術家支援に長年尽力して来られた島田誠さん(アートサポートセンター神戸代表、KEC 正会員)の依頼を受け、KEC では一般財団法人神戸文化支援基金の設立をお手伝いいたしました。これは全国でも珍しい市民主体の文化・芸術支援基金であり、2010年3月には記念すべき第1回の助成が亀井純子基金と合同で行われました。現在次のステップ、公益認定を目指して準備を進めています。

### 【住友ゴム工業 CSR 基金】

KEC として昨期から社員へのボランティア情報提供のお手伝いをしてきた住友ゴム工業株式会社ですが(「GENKI スクエア」事業)、昨夏、社員の寄付と会社からの同額マッチングにより「住友ゴム CSR 基金」が社内に作られました。それを原資とする NPO への第1回助成が2010年春に行われました。KEC はこの事業のコンサルティングと運営のサポートにあたりました。神戸の企業による直接的な市民活動助成はまだ例が少なく、また社員の皆さまの広い意味での「参加」の側面も重要ですので、今後もこの基金を盛り立てていければと思います。

### 【NPO 法人会計基準の策定】

仕組みづくり・アドボカシーでは、冒頭の制度外サービス調査以外に「NPO 法人会計基準の策定」があります。これは全国の支援センター79 団体からなる「NPO 法人会計基準協議会」(※)が多数の専門家とともに民間主体で策定した NPO 法人として初の会計基準であり、2009年3月から14ヶ月をかけ2010年7月によりやく策定されました。KEC はほぼすべての策定委員会・協議会に出席、策定プロセスに積極的に参加してきました。会計基準の整備によって、これまで十分とは言い難かった NPO の情報開示の条件が一つ整いました。会計処理の負担も軽減するはずで、これは NPO セクター全体にとって大変大きな前進と言えます。新年度以降(2010/7~)、その普及に尽力して参ります。

※兵庫県からは KEC のほか、NPO 会計支援センター、(特活)シーズ加古川、ひょうごボランタリープラザが加盟。

### 【認定 NPO 法人を申請】

年度末(6月)に「認定 NPO 法人」の申請をしたことも大きなニュースです。本報告執筆時の2010年9月現在、まだ国税庁において審査中ですが、もし認定を得られれば KEC 自身だけでなく、多くの NPO への支援につながるような寄付または助成の仕組みを検討したいと考えています。

## 重点項目と総合評価

冒頭の3重点項目から見ると、

#### 1) NPO の現場からの政策を実現

地域福祉関係では「実現」は途上だが、その方向に進んでいる。保育関係は政策研究会を継続。セクター全体の制度として、会計基準は2010年7月に策定が成った。

#### 2) NPO への経営支援力をよりいっそう高める

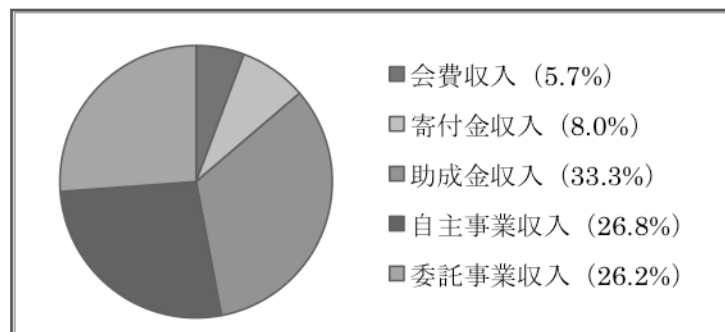
着実に高めつつあるがその「形式知化」が少し遅れ気味。会計基準の策定とその面の支援も合わせなんとか合格点か。

### 3) 経営改善に有効な講座を実施

支援センター研修、助成金講座などは行ったが不十分。開発は進んだが合格点には到らず。といったところでしょうか。重点項目以外のトピックスが比較的豊富だったのをどう評価すべきか微妙で、総合的には合格点を付けてよいかと考えていますが、皆さまの忌憚ない評価を頂戴したいと思います。

### 【今期もなんとか黒字】

財政面ですが、2009 年度もなんとか黒字決算とすることができました。しかし助成金の比率が 33.3%と高く、安定しているとは言えません。全体のバランスは悪くないと考えていますが、会費、寄付金、事業収入（自主・委託とも）など、自由度・安定度の高い財源の比率をもう少し高めたいと思います。収入総額は昨年度比+1.1%で横ばい。



(2009 年度 収入総額=20,698,124 円)

### 【課題・反省点】

最後に、逆に「できなかったこと」「残した課題」を挙げます。

一つは成果と裏腹ですが、調査事業などに予想以上のエネルギーを費やしてしまい、結果、他の事業を圧迫したことは大きな反省点です。例えば機関誌『みみずく』は年1回しか発行できませんでした。これは会員減少の要因にもなっており、全体に事業の進捗管理力を高めないとはいけません。また、アドバイザー派遣事業はこの期中にいつそうのブラッシュアップを行う予定でしたが、やや進捗が遅れています。

そして、ここまで拡がってきた事業をもう少し安定的に、しかも事業のクオリティはいつそう高めつつ推進していかなければなりません。それには体制面の充実が必要です。この1年はボランティア、インターンの参加が増え事務所に活気が増した1年でもありましたが、常勤2名の体制は以前のもままで、引き続き体制強化が大きな課題と考えています。

次ページ以降にこの1年間のKECの歩みをまとめました。忌憚のないご意見、ご批判を頂戴するとともに、今後ともKECの活動をさせていただきますようお願い申し上げます。

## II. 事業

### A) NPO 活動を支える仕組みづくり

#### 1. 調査研究と政策提言

「ひょうごん福祉ネット」として全国初の「制度外サービスの実態調査事業」を実施、KEC は事務局として大きな役割を担った。調査のプロセスで福祉ネット以外のサービス提供主体や神戸市も参加するネットワークを組むことができ、今後の政策提言に向けての土壌も醸成することができた。さらに、昨秋から実吉が「神戸市市民福祉調査委員会・小委員会」委員の委嘱を受け、市の福祉計画策定の議論にも参加している。

全国レベルでは、「NPO 法人会計基準」策定に全国79の支援センターとともに関わった。NPO セクターにとって重要な基盤整備が一つ実現した。またSR (社会的責任) 円卓会議など、これからの社会づくり、その中での民間非営利活動のあり方などの政策論議への関わりも増えてきている。

#### (1) 「介護保険制度外サービス」実態調査事業 (ひょうごん福祉ネット)

※ネットワークによる活動 **事務局**

(独立行政法人福祉医療機構 (WAM) 助成事業)

<担当: 実吉、松岡、八十>

2009年8月~2010年3月、介護保険の制度外サービスの実態について、サービス主体の事業所と受け手の両方を調査した。神戸市内の非営利組織によって2008年度の1年間に提供された制度外サービスの全体像を明らかにする包括的な調査であり、類似の調査は全国でも例のないものであった。

もともと KEC は「制度外」の活動・事業を行う NPO への支援に力を入れてきたが、2006年9月から、ひょうご市民活動協議会 (HYOGON) の分科会として始まった「ひょうごん福祉ネット」はその設立時から事務局を務めるなど積極的に支援してきた。本調査事業はその一つの集大成となるものであり、同時に、これまで連携が十分とは言えなかった福祉行政との連携強化の端緒となるものであった。

調査委員会には福祉ネット以外のサービス提供団体も参加してもらい、調査の専門家や神戸市高齢福祉部長らのアドバイスを受けながら、調査票の設計に4回の会議を費やす徹底議論を行った。10団体15事業所、その利用者836人について調査を行い、住民主体の非営利活動が介護保険では満たされない多様なニーズに対応していることと、サービス提供側の抱える課題などを明らかにした。

○調査委員会6回、小委員会等4回開催。

**調査報告書あり**

○「神戸の非営利組織による介護保険制度外サービス実態調査報告書」

2010年3月、A4版100ページ。400部発行。5月、500部増刷。

**(2) NPO に関わる制度改正運動 (NPO 会計基準、NPO 法、税制等)** <担当:実吉>

## ※ネットワークによる活動

## ○NPO 法人会計基準策定プロジェクト

2009年3月以来の議論を経て、2010年7月に「NPO 法人会計基準」を策定した。全国の NPO 支援センター79 団体と多数の専門家が長い時間をかけて民間主体で策定した NPO 法人として初の会計基準であり、これにより、これまで十分ではなかった NPO の情報開示の条件が一つ整った。会計処理の負担も軽減すると予測され、NPO セクター全体にとって大変大きな前進と言える。

KEC は協議会メンバーとして、全協議会、ほぼすべての策定委員会、中間報告イベント (パネラー) 等に出席、2009年9月にはひょうご市民活動協議会 (HYOGON) として学習会を開催、また関西の協議会メンバーとともに意見書を提出するなど積極的に関わった。

## ○NPO 法人税制改正のうごき

「NPO/NGO に関する税・法人制度改革連絡会」の一員として要望書を提出 (10年6月)。「新しい公共」宣言、市民公益税制プロジェクトチーム中間報告書などを受け、NPO 法人税制始まって以来の大幅な改正の期待が高まっている。

**(3) 安全・安心で持続可能な未来に向けた社会的責任に関する円卓会議 (SR 円卓会議)** <担当:実吉>

## ※ネットワークによる活動

NPO、行政、事業者、金融、労働団体、消費者団体と多様なステークホルダーの集まる円卓会議で、政権交代の影響による半年ほどの休止状態を経て、本格的な議論が春以降に活発化した。NPO セクターとして「NN ネット (社会的責任向上のための NPO/NGO ネットワーク)」から代表者が参加しており、KEC も NN ネットのメンバーとして、実吉が4つあるワーキンググループのうち「持続可能な地域づくり WG」で委員を務める。

**(4) 「企業の社会貢献活動」調査** ※兵庫県の委託調査 (緊急雇用)

不採択により実施せず。

**(5) その他の調査・提言**

神戸市都市計画局住宅政策課「すまい審議会」、同、市民参画推進局地域力強化推進課「神戸ソーシャルビジネス円卓会議」に実吉が参加。

**2. NPO のための資源開発事業****(1) 住友ゴム工業株式会社「GENKI スクエア」事業** <担当:実吉、八十、中原、美甘、村上、興津>

社内に社員有志からの積み立て (+会社からの同額マッチング) による「住友ゴム CSR 基金」が立ち上がり、'10年5月に第1回助成が行われた。KEC は助成スキームへの助言と助成先の推薦、ヒアリングのコーディネート等にあたった。

ボランティア情報は月5~10件程度を収集、提出した。

これら一連の活動に対し、ひょうごボランティア基金から「NPO・企業協働奨励金」をいただいた。

- (2) 「サンケイリビング」紙での情報発信、その他 <担当：中原、美甘、村上、興津>  
リビング紙はほぼ月1回、各3~6件の情報発信。

### 3. 情報発信事業

「みみずく」は年1回の発行にとどまった。ウェブサイトのリニューアルは、更新の仕組みの改正を試み、'10年8月に変更となった。

- (1) 機関誌「みみずく」の発行 <担当：諏訪、八十、実吉>  
27号：2009年9月30日発行、3,000部。

- (2) ウェブサイトでの情報発信 <担当：八十、諏訪、品田、実吉>  
専門家にボランティアでお願いしてきた情報更新を事務局内部で可能にするよう、仕組みの変更を企画・依頼した。(実施：'10年8月)

### 4. ネットワーク事業

- (1) ひょうご市民活動協議会 (HYOGON) 事務局 <担当：実吉>

#### ※ネットワークによる活動 **事務局**

HYOGONの活動は年間3回の「HYOGONカフェ」、恒例になった1月の「賀詞交換会」に絞られ、KECは事務局としてその連絡調整や一定のインフラとして機能しているメーリングリストの管理等を行った。

- (2) 他団体の役員就任、研究会への参加等

- ・特定非営利活動法人 日本NPOセンター 理事 (任期='08年6月~'10年6月(退任)) ※実吉
- ・ひょうご市民活動協議会 運営委員・事務局長 (任期='09年6月~'10年6月) ※実吉
- ・ひょうごDV被害者支援ネットワーク (HYVIS) 会員 ('09年7月~) ※八十
- ・神戸市・すまい審議会 委員 ('09年8月~) ※実吉
- ・神戸市・市民福祉調査委員会小委員会 委員 ('09年秋~) ※実吉
- ・兵庫県・長期ビジョン推進委員会 委員 (任期='09年4月~'10年3月) ※実吉
- ・神戸市・神戸市民円卓会議 委員 ('07年8月~'10年3月) ※実吉
- ・神戸市・ソーシャルビジネス円卓会議 委員 ('10年6月~) ※実吉

## B) NPO 支援

### 5. NPOの経営支援事業

ここ数年力を入れている「アドバイザー派遣系」事業を軸に、今年度は集合研修やこの手法の普及なども企画・実施した。新たな試みであった同じ分野の団体による「合同研修会」は参加者の高いモチベーションもあって深い学びの場を提供することができた。また、全国15団体から参加があった「支援センタースタッフ研修」合宿も参加者満足度の高い場となった。地球環境基金の委託を受けて行った会計・税務、労務の専門家による「出前講座」もほぼ派遣型の経営支援であったが、地域と分野を広げて実施することとなり、大きな手応えがあった。

**(1) 相談事業** <担当: 八十>

十分な体制を組めないため、不特定多数への一般相談はここ3年ほど控えめにしてきた。しかしNPOの団体数も増えており、KECを広く利用いただく接点も必要であり、月1回の相談会などを検討している。

**(2) 「一般財団法人神戸文化支援基金」設立の支援** <担当: 実吉、八十>

認定NPO法人との比較検討などを経て、10月8日一般財団として設立。全国でも珍しい市民主体の文化・芸術支援基金であり、2010年3月には記念すべき第1回の助成が亀井純子基金と合同で行われた。現在、公益認定に向けて準備中。

2010年4月からは同財団の事務局業務を受託することとなった。

**(3) ネットワークによる経営手法の共同開発事業 (KEC アドバイザー派遣事業)**

**(独立行政法人福祉医療機構 (WAM) 助成事業)** <担当: 実吉、八十、松岡、中原、美甘、興津>

2009年度は子育て分野、2010年度は障害児・者分野を対象とする。

コーディネーター 今田忠

アドバイザー 江口聰(しみん基金・KOBÉ)、荻野俊子(NPO会計支援センター)、東末真紀(神戸まちづくり研究所)、実吉、八十

[2009年度]

**1) アドバイザー派遣** ・・・・3団体のべ29回実施

3団体とも前年度からの継続で、リーダーだけでなくスタッフ・役員らとも関わりを持ち、入り込む支援を行った。コミュニケーションの促進支援の面が強い。また、支援の終了についても考えなければならなくなってきた。

(特活)こどもコミュニティケア(神戸市垂水区) / 実吉、東末 / 7回

(特活)はらっぱ(西宮市) / 実吉、今田、荻野、東末 / 6回

(特活)ぴっぴ(神戸市西区) / 八十、石田 / 16回

**2) 合同研修会** ・・・・7団体参加、8回実施

保育事業を行うNPO同士、情報交換に始まって講師を招いての勉強会まで意欲的に取り組み、当初予定の3回を大幅に超える開催となった。

参加団体: (特活)こどもコミュニティケア、(特活)はらっぱ、(特活)ぴっぴ、  
親と子のほっとスペース サンタッタひろば(西宮市)、  
(特活)保育ネットワーク・ミルク(三田市)、  
保育ルームぱんぷきんハウス(神戸市東灘区)、  
保育ルームぼかぼか(西宮市)

第1回「合同研修会のテーマ案、新規参加団体候補の選定」

第2回「団体顔合わせ、課題の出し合い～研修でのテーマ設定」

第3回「運営のノウハウ交換」

第4回「スタッフのスキルアップ」

第5回「保育ネットワーク・ミルクさん訪問」

第6回「NPOと企業のこれからの協働のありかた」ゲスト: 住友生命・井上小太郎さん

第7回「汐見稔幸先生をお迎えして」ゲスト: 白梅大学学長・汐見稔幸さん

第8回「認可/認可外、これからの保育について考える」



**3) 会計システムの開発・実証** ・ ・ ・ 9 団体参加、ミーティング 1 回開催

管理会計の導入を推進する予定だったが、上述 A.1.(1)会計基準の策定を待って本格的に講座等を実施することとし、1 回のみ。

**4) 支援センタースタッフ研修**

・ ・ ・ 15 団体 18 名参加、1 泊 2 日、六甲保養荘 (西宮市) にてアドバイザー派遣型の NPO 支援という手法の有効性、他団体での実現可能性について、ロールプレイやケーススタディ、グループワークなどを通じて伝え、ともに考えた。茨城から山口にわたる広範囲から参加があり、中間支援組織として NPO 支援にどう取り組んでいるか、いきたいかをあらためて考える研修となったことに評価が高かった。主催者自身も本企画を通じてこの支援の意味・意義について言語化することができた。

[2010 年度]

## 1) 合同研修会 転じて「子育て支援政策研究会」3 回開催

'09 年度の 2) の継続。4 月以降は主導権を徐々に参加団体側に移しつつある。

**(4) NPO の中期計画づくり支援事業 (ひょうごボランタリー基金助成事業)** <担当: 実吉、八十>

5 団体のべ 13 回実施

会議の進行担当などを通じ、組織づくり支援を行った。まだ必ずしも中期計画づくりに至っている団体ばかりではないが、いずれも意欲的である。

(特活)福祉ネットワーク西須磨だんらん (神戸市須磨区; 2 回)

(特活)CAP センター・JAPAN (西宮市; 6 回) 以上、実吉担当

頭部外傷や病気による後遺症を持つ若者と家族の会・兵庫支部 (神戸市東灘区; 1 回)

「提携」の消費者の会 (神戸市中央区; 3 回)

(特活)すまみらい (神戸市須磨区; 1 回) 以上、八十担当

**(5) NPO 等育成アドバイザー派遣事業・小規模作業所等事業サポーター事業** <担当: 実吉、八十>

※ネットワークによる活動

(事務局=(特活)神戸まちづくり研究所; 神戸市市民参画推進局・保健福祉局委託)

## ○NPO アドバイザー派遣事業

(KEC 担当分) 2 団体のべ 9 回実施

WS ひょうご (神戸市; 7 回)

(特活)神戸コダーイ芸術教育研究所 (神戸市東灘区; 2 回) 以上、八十担当

個別支援以外にアドバイザーが講師になって研修会を開催する企画もあり、実吉「かしこい! 資金調達方法」(11/16)、八十「サブちゃんサロン (リーダーでないスタッフの交流会)」(2/9) も実施した。

## ○作業所サポーター事業

(KEC 担当分) 3 団体のべ 9 回実施

鶴美服装作業所 (神戸市長田区; 4 回)

ピータンハウス (神戸市長田区; 2 回)

以上実吉担当

共働作業所すずらん (神戸市北区; 2 回)

ワークホーム兵庫 (神戸市須磨区; 1 回)

以上八十担当

**(6) 学び支援 (講師派遣) 事業** <担当: 実吉、八十>

講師派遣 16 件、研修受け入れ 4 件

**(7) 自主講座事業 (ひょうごボランティア基金助成事業)** <担当: 実吉、八十、村上>

上記(4)とのセット企画で「助成金カフェ」を 5 回実施、のべ 31 人参加。基礎編 (基本のレクチャー)、実践編 (申請書の書き方)、特別編 (財団の人を招いての合同説明会) を開催、リピーターも多かった。

新規支援先開拓を兼ねた企画で、これを機に入会してくださった団体もあった。

助成金カレンダーの更新体制が整った。

**(8) 研修・講座企画事業**○**JICA 青年研修事業 (国際協力機構 (JICA) 委託事業)** <担当: 実吉、八十>

独立行政法人 国際協力機構 (JICA) の委託を受け、2 年続けて「障がい者支援制度」のテーマで途上国からの研修受け入れ事業を実施した。毎年 7 月の一時期だけ、国際色が豊かになる。国内 (主に兵庫) の支援団体や当事者団体と海外からの研修員との交流から私たちにも大きな刺激を受けている。

2010 年度事業については、「神戸元町 NPO ポート」入居団体でもある参加型開発研究所の坂西卓郎さんにコーディネート業務を担っていただいた。

- ・障害者支援制度コース、2009 年 7 月 9 日~21 日、タイ、13 名

- ・同コース、2010 年 7 月実施分 (アフリカ英語圏諸国、23 名) の企画・準備

○**環境 NGO のための会計出前講座事業 (地球環境基金委託事業)** <担当: 実吉、八十>

会計・税務・労務について専門家を派遣する、アドバイザー派遣事業。

宮崎洋彰監事、荻野俊子会員、高龍弘社会保険労務士の協力を得、兵庫・大阪・京都の 7 団体にのべ 24 回の派遣を実施した。(独立行政法人 環境再生保全機構・地球環境基金委託)

**(9) ひょうごん福祉ネット支援事業** <担当: 実吉、松岡、八十>※**ネットワークによる活動**

1-(3)の調査事業を含む WAM 助成事業を中心に実施。調査以外の主な活動は次のとおり。

- 月例の情報交換会

- 学習会等の開催

- 「コーディネーター養成研修」10 月 18 日、新長田勤労市民センター、参加 32 名

- 講師: 重野妙美さん (親和女子大学発達教育学部講師)

- 「先進事例視察学習会」12 月 14 日、大阪方面バスツアー、参加 20 名

- (特活)エフ・エー、(特活)寝屋川あいの会訪問

- 「講演・交流会」3 月 21 日、神戸市勤労会館、参加 47 名

- 講師: 上野谷加代子さん (同志社大学社会学部教授)

- テーマ: 「たすけ上手・たすけられ上手」の幸齢社会を目指して

- 共同広報パンフレットの改訂版作成、ホームページの更新 など

(構成団体) 21 団体

(特活)ケアット、コープくらしの助け合いの会、(特活)神戸障害者自立支援福祉協会、(特活)神戸ライフ・ケア協会、(特活)COM総合福祉研究所、(特活)市民活動センター神戸、(特活)花たば、(特活)東灘地域助け合いネットワーク、(特活)ひょうご・まち・くらし研究所、(特活)福祉ネット星が丘、(特活)福祉ネットワーク西須磨だんらん、(特活)ポプリ、(特活)ゆいまー神戸、(特活)リーフグリーン、(特活)わだち【以上、神戸市】、(特活)市民サポートセンター明石【明石市】、(特活)アイアイネット【三木市】、(特活)都市生活コミュニティセンター【西宮市】、(特活)さわやか北摂【川西市】、(特活)淡路島ファミリーサポートセンターまあるく【淡路市】、(特活)さわやか三田【三田市】 (このほか、個人会員8名)

## 6. NPO への拠点提供 (神戸元町 NPO ポート運営) 事業 <担当: 興津、山田、八十>

2009年7月~2010年6月まではほぼ満室の利用状況(シェアデスクに余地があるのみ)。神戸元町 NPO ポートに住所を置く団体は NPO 法人8法人(KEC 含む)、任意団体等5団体の計13団体となった。

一室	兵庫県学童保育連絡協議会・神戸市学童保育連絡会(3F) (特活)緑の森自然キャンプ協会(1F)
2機	(特活)子どもフレンドリーネット・神戸 参加型開発研究所
1機	(特活)エコレンジャー (特活)和太鼓教育研究所 (特活)パソコンを弾く研究所
シェアデスク	(特活)DEFC
住所設置団体	(特活)女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ インパクト関西 げんき de ネット

## 7. その他の事業

### (1) 会館事業(印刷機、プロジェクター等貸出)

### (2) みみずく書房事業

### (3) 民間公益活動研究会(今田塾)

今田忠理事を塾長に、NPO かど民間公益活動のあり方と社会システムに関する勉強会(第4期)を開催。関西の若手・中堅 NPO スタッフにメンバーを拡大して開催した。

[2009年]

7月11日 「NPOの未来と中間支援組織の役割」(20人)

9月26日 「NPOはデモクラシーのために何をなすべきか、何が出来るか」(9人)

11月10日 「政府とNPOは対等たり得るか」(15人) (以上、今田忠さん)

[2010年]

1月9日 「市民調査について」(13人) (諏訪晃一さん)

4月24日 「NPOは多元社会を超えられるか~NPOの雇用と経営に関する実証研究」(9人) (柏木登起さん)

6月3日 「NPO持続の条件」(9人) (金治宏さん)

### Ⅲ. 組織

#### 1. 会議

##### ○2009年度通常総会

日 時 2009年8月23日(日) 15:00~17:30

場 所 秋毎ビル会議室 (市民活動センター神戸事務所2階)

出席者 正会員62名 (うち表決委任者44名) (正会員総数75名)

審議事項 第1号議案 2008年度事業報告案承認の件 (全会一致で承認)

第2号議案 2008年度決算報告案承認の件 (全会一致で承認)

第3号議案 2009~2010年度役員選任の件 (全会一致で承認)

報告事項 2009年度事業計画ならびに収支予算

ミニ講演会「災害救援における協働ってナンダ? ~山口・兵庫水害の現場から」

(桑原英文理事)

##### ○理事会

	開催日	審議事項	出席者
第44回	2009年8月23日	正会員の退会処理について (→承認)	理事10名 (うち表決委任4名)、 監事2名
第45回	2009年8月23日	役付役員選任の件 (→承認)	理事6名、監事2名
第46回	2009年12月24日	2009年度事業計画・予算の変更の件 (→変更しないことを決議)	理事13名 (うち表決委任7名)、 監事2名
第47回	2010年4月12日	なし	理事13名 (うち表決委任5名)

○運営会議 2009年10月2日(金)の1回のみ開催。

#### 2. 会員

	2006年度末	2007年度末	2008年度末	2009年度末実績(前期比)	同、目標
正会員	54	65	69	76名 (▲7)	100
賛助/個人	14	46	71	37名 (▲34)	71
賛助/団体	6	20	23	8団体 (▲15)	25
利用/個人	4	5	4	5名 (+1)	4
利用/団体	14	11	20	11団体 (▲9)	30
購読	37	(※)16	6	0	1
計	129	163	193	137名/団体 (▲56)	231
(下段=正会員以外)	75	98	124	61名/団体 (▲63)	131

※この年より購読会員制度を中断

#### 3. 役員

当期は改選期にあたり、通常総会において全員が再任された (理事13名、監事2名)。

#### 4. 事務局

常勤職員 2 名・非常勤 1 名からの増強を図り、年度中には非常勤職員も採用したが年度末には増減なしとなった。ボランティアやインターンとして参加してくれる人が徐々に増え、常に数名のボランティア、インターンが活動に参加、事務局にも大きなサポートとなった。

- ・常 勤 実吉威 (事務局長)  
八十庸子
- ・非 常 勤 美甘亜貴 (～'09 年 9 月)  
興津慶 ('09 年 8 月～)  
松岡香江 ('09 年 10 月～'10 年 3 月) ※ひょうごん福祉ネットと合わせてフルタイム
- ・事務局ボランティア 山崎ゆり  
山田裕美 (～'09 年 9 月)  
中原万紀子 (～'09 年 10 月)  
村上真一 ('09 年 10 月～)  
芳形朋江 ('10 年 6 月～)  
谷川あす香 ('10 年 6 月～) ※7 月～インターン
- ・ウェブ企画・制作ボランティア 山口真司、品田房子、諏訪晃一
- ・「みみずく」デザインボランティア 宮崎悦子 (敬称略)

#### 5. 謝辞

多くの皆さまのご支援で今年も活動をすることができました。

心より感謝申し上げます。ありがとうございました。(敬称略。五十音順)

##### 【正会員】

相川康子、朝野まどか、渥美公秀、阿部嘉男、阿部圭宏、尼川洋子、雨森孝悦、池田啓一  
石田易司、磯辺康子、井上小太郎、今田忠、岩永清滋、ウラベノリコ、江口聰、大岡頼光  
大橋正明、岡本仁宏、興津慶、荻野俊子、尾崎力、角谷陽子、粕谷史朗、加田裕之、金谷信子  
狩野育子、亀井尚也、川口謙造、木口一郎、喜多陽太郎、橘高由美、絹川正明、桑原英文  
桑原美千子、坂本憲治、実吉威、品田房子、島田京子、島田誠、末永美紀子、菅磨志保、直田春夫  
諏訪晃一、田浦彩子、竹内瞳、田尻佳史、田中康文、出口正之、土肥直紀、長沢恵美子、中田豊一  
中塚華奈、中原寿子、西栄一、新田英理子、野村文宏、早瀬昇、飛田雄一、日埜昭子、日比野純一  
藤井敦史、藤田研、藤野達也、法橋聡、松岡香江、松原明、宮崎洋彰、室崎益輝、森田博一  
八十庸子、八ッ塚一郎、山崎ゆり、山下淳、山田裕美、吉野太郎、渡辺元  
(2010 年 7 月以降の入会者：横田能洋)

※寄付者、賛助会員／個人、利用会員／個人のみなさまのお名前は、公表の可否をご本人に確認中につき、ここでは人数のみ掲載します。当団体の年次報告書にはご承諾いただいた方のお名前を掲載します。

【寄付者】 20 人、1 団体

【助 成】

独立行政法人福祉医療機構 (WAM)、ひょうごボランティア基金  
(社福)神戸市中央区社会福祉協議会、(財)こうべ市民福祉振興協会

【物品ご寄贈他】

秋毎株式会社、大阪ガス株式会社、住友ゴム工業株式会社

【賛助会員／個人】 40人

【賛助会員／団体】

(特活)ASTO、(特活)いしかわ市民活動ネットワークセンター  
(特活)茨城 NPO センター・コモンズ、NGO 自敬寺、(特活)神戸コダーイ芸術教育研究所  
(財)国際文化交流事業財団、(特活)てみずの会、(特活)汎太平洋フォーラム  
(特活)ひょうご・まち・くらし研究所

【利用会員／個人】 5人

【利用会員／団体】

こうべ子どもにここ会、(特活)市民サポートセンター明石、(特活)しらゆり会、(特活)信親  
(特活)すまみらい、(特活)知的障がい児者支援ネット姫路、  
(特活)知的障害児・者療育サポートセンターくれよん、(特活)デモクラティックスタイル和  
(特活)兵庫県腎友会、(特活)福祉ネット星が丘

※以上いずれも、2009年7月1日~2010年6月30日分。